

事業番号	09 03 04	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業改良普及事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	S23 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	労働生産性						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入						

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 ・高度化する農業技術や環境と調和のとれた農業生産、多様化する流通・消費形態、高度情報化等に対応した農業経営者が地域で活躍するとともに、農業・農村を担う組織づくりがなされ、地域農業の振興と活性化が図られている。 ・食品産業界が求める農産物を生産し契約取引を行う農業者が増加し、産地が育成され、農家所得の向上が図られている。 【これまでの取組】 ・農業者に接し、新品種・新技術の実証展示ほを活用した生産指導や経営改善指導等に関する普及活動を通じて、自主的に課題解決できる農業者を育成し、農業・農村の持続的な発展を図ってきた。 ・人・農地プランづくりや農業の6次産業化支援等、地域の新たな課題の解決に向けた普及活動を実施した。 ・食品企業等の実需者ニーズを的確に把握した契約取引を行う新たな産地づくりを推進するなど、時代の変化に対応した普及活動を展開し、農業者の所得向上を図った。				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度化する生産技術、多様化・複雑化する流通 ・消費形態に対応できる農業者の育成及び生産振興と農村振興が一体となった施策の推進が必要とされている。</td> <td>開発された技術や先端技術の生産現場への早期普及及び実装の加速化、市町村・JA等の関係機関と連携した担い手の確保・育成、農業・農村の活性化を推し進める。</td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	高度化する生産技術、多様化・複雑化する流通 ・消費形態に対応できる農業者の育成及び生産振興と農村振興が一体となった施策の推進が必要とされている。
課 題	今後の方向性				
高度化する生産技術、多様化・複雑化する流通 ・消費形態に対応できる農業者の育成及び生産振興と農村振興が一体となった施策の推進が必要とされている。	開発された技術や先端技術の生産現場への早期普及及び実装の加速化、市町村・JA等の関係機関と連携した担い手の確保・育成、農業・農村の活性化を推し進める。				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	○スマート農業の推進 ・スマート農業機器のお試し導入による農業者への先端技術の導入を推進（水田センサー90台） ・農業農村支援センターにタブレット端末（61台）を配備し、先端技術に対応した指導を実施 ○時代の本県農業を担う人材の確保・育成 ・農業大学校や市町村等の関係機関と連携し、新規就農親研修を通じて新規就農者の確保・育成を実施 ○新規就農者等の経営発展に向けた研修 ・農業農村支援センターにおいて、各種講座（新規就農者フォローアップ、青年農業者育成）を開催し、経営発展や技術習得を支援 ○技術習得による1等米比率全国1位の達成のための活動 ・品質低下を招く斑点米の発生を防止するため、カメムシ対策等の技術指導を実施 ○新技術・新品種等を核とした果樹経営体の「稼ぐ・攻める」力の強化 ・リンゴ「シナノリップ」、ブドウ「クイーンルージュ®」など県オリジナル品種の作付拡大による収益の向上
------------------	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)							
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度				
1	指標平均進捗率(%) (県食農計画の指標のうち、普及事業に係る4項目及び普及活動重点課題の7項目、計11項目の平均)	108	100	↓	100	→	90	事業コスト		要求	63,805		
								予算額	当初予算	71,927	64,780	予算案	63,805
									補正予算	0	-2,444		
									合計(A)	71,927	62,336	要求	63,805
									うち一般財源	38,642	29,758	予算案	63,805
決算額(B)	56,125		要求	29,521									
職員数(人)	186.0	183.0	予算案	29,521									

成果指標設定理由	①第3期食農計画の目標達成に向けて、農業農村支援センターが重点的に取り組む指標の平均進捗率を指標として設定。 ②～④ ①のうち、普及活動での重要度が高い新規就農者数の確保（第3期食農計画の達成指標数値）、1等米比率全国トップクラスの維持、県果樹試験場開発のオリジナル品種（シナノリップ、クイーンルージュ）の面積拡大を指標として設定。 ⑤契約取引を行う新たな産地づくりを進めるため、新規契約取引成約件数を指標として設定。 ※目標値（①～⑤）：「第3期長野県食と農業農村振興計画」等に基づき設定
----------	--

予算要求からの主な変更点	要求どおり
--------------	-------

事業名	農業改良普及事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
1	農業改良普及運営費	49,055 千円	46,959 千円	要求 予算案	45,587 45,587 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	農業農村支援センターの運営費	直接	県下10所の農業農村支援センターに普及指導員を配置して地域における課題を解決するため、普及活動を展開する。		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
2	普及活動事業	22,082 千円	17,070 千円	要求 予算案	16,478 16,478 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	農業農村支援センターの活動事業費	直接	担い手の育成・確保や農業関係試験場が開発した新技術・新品種の普及、農業者の経営改善など、協同農業普及事業の実施に関する指針に基づいた普及活動を展開する。 また、農業機械メーカーの協力等によりスマート農業技術の導入支援や農業者や指導者を対象とした研修会の開催及びJA等の関係機関と連携した指導体制の整備を図り、本県農業のスマート化を加速する。		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
3	中山間地域農業新需要創出事業	790 千円	751 千円	要求 予算案	739 739 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	中山間地域農産物の実需者との取引を支援	直接	契約取引を志向する農業者等を対象とした農産物取引等に関する基礎知識習得研修会等を開催、契約栽培を開始する上で必要となる、伝統野菜、新品目・新品種等の栽培技術指導及び食品産業事業者と農業者の交流会を開催する。		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
4	中山間地スマート農業機械導入調査	— 千円	— 千円	要求 予算案	1,001 1,001 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	県が開発を支援した新型のスマート農業機械の普及拡大	直接	県が開発を支援し普及を目指す、新型のスマート農業機械を中山間地域の農業者に対し、期間を定めて貸与し、機械の使用具合を調査する。		